日立認証プリントシステム
Secure Print Component for Prinfina
SP6000シリーズ

本カタログはAdobe社Acrobatにより製作したPDFカタログです。

■日立認証プリントシステム Secure Print Component for Prinfina SP6000シリーズ製品一覧

品　名	形　名	価格（税込）	概略仕様
認証ユニット	PC-PX6000RS	123,900円	認証BOX、ICカード リーダ・ライタセット
ICカード リーダ・ライタ	PC-PX6000R	31,500円	Type A/FeliCa対応
クライアントタイプ基本パッケージ（10）	PC-PP6000C-010P	31,500円	クライアントライセンス10本＋CD-ROM
クライアントタイプ追加ライセンス（10）	PC-PP6000C-010L	28,980円	クライアントタイプ用追加ライセンス10本
クライアントタイプ追加ライセンス（100）	PC-PP6000C-100L	289,800円	クライアントタイプ用追加ライセンス100本
サーバタイプ基本パッケージ（50）	PC-PP6000S-050P	183,540円	サーバライセンス50本＋CD-ROM
サーバタイプ追加ライセンス（50）	PC-PP6000S-050L	144,900円	サーバタイプ用追加ライセンス50本
サーバタイプ追加ライセンス（500）	PC-PP6000S-500L	1,302,000円	サーバタイプ用追加ライセンス500本
プリントログマネージャ	PC-PP6000U	312,900円	プリントログ収集・管理ソフトウェア

■認証ユニット概略仕様

	認証BOX	ICカード リーダ・ライタ
外形寸法（W×H×D）	約30×130×107mm（スタンドを除く）	約92×16×64mm
質　量	約180g	約90g
電　源	AC100V 0.3A	−

設置環境の確認 と 注意事項

■ 認証BOXはネットワークに接続して使用します。
IPアドレス、ネットワークケーブル、イーサーネットハブをご用意ください。

■ 認証BOX用の電源が必要です。
ACアダプタ用に電源コンセント（AC100V 2極）をご用意ください。

■ ネットワーク環境について
クライアントタイプの場合、認証BOXは認証プロセスでブロードキャストを使用します。ルータなどの設定でブロードキャストが使用できない環境の場合、認証プリントは行えません。ルータ環境を変更するか、サーバタイプの導入をご検討ください。

■ 対応ICカード リーダ・ライタについて
SAXA株式会社製 ICカードR/W HR330C以外のICカード リーダ・ライタは使用できません。また、ICカード リーダ・ライタの背面にPC-PX6000Rの記載の無い一般流通品はサポートの対象外となります。

■ 対応ICカードについて
本システムで対応しているICカードは、ISO14443 Type A*1（UID）および FeliCa*2（IDm）です。その他のICカードを使用する場合は個別見積もりとなります。

*1 Standard 1K / Standard 4kに対応
*2 FeliCa RC-S850シリーズ、FeliCa RC-S860シリーズに対応（RC-S851/852/830を除く）

■ プリンタの機能について
認証プリントは仮想プリンタドライバを使用します。
- サーバタイプでは排紙制御などプリンタ個別の設定を使用することはできません。
- クライアントタイプでは日立プリンタの対応機種のみ詳細プロパティを指定することができます。
- プリンタによっては両面印刷指定など認証プリントドライバの設定が有効にならず、個別の環境設定が必要になる場合があります。

■ 印刷結果について
認証プリントドライバを使用した場合、各プリンタの専用プリンタドライバを使用した印刷結果と異なる場合があります。プレプリント帳票やバーコード印刷、業務用帳票アプリケーションを使用の場合は、事前に印刷結果の確認を実施することをおすすめします。

■ 印刷速度について
ネットワーク環境やサーバの負荷状態、印刷データによって、認証完了からプリンタの印刷開始までに時間がかかることがあります。

■ プリントログマネージャについて
プリントログマネージャは、Microsoft® SQL Server 2005 Express Editionをデータベースエンジンとして使用しています。Express Editionの最大データ容量は4GBです。4GBを超えて使用する場合は、データベースのバージョンアップまたはデータの定期的なバックアップを実施してください。

■ 認証プリントモジュール（各基本パッケージソフトウエア）、プリントログマネージャの動作環境について
認証プリントモジュールの動作環境は以下の通りです。
クライアントPC環境：Microsoft® Windows® 2000(x86)、Windows® XP(x86)、Windows Vista®(x86)
サーバ環境：Microsoft® Windows Server® 2003 SP2(x86)
また、最新のサービスパック、更新プログラムが適用されていない環境では正常に動作しない場合があります。

■ 認証プリントサーバとプリントログマネージャを1台のサーバで構築することはできません。別サーバ環境を準備してください。

■ サーバの動作環境について
CPU、メモリー、HDDの性能は、使用する印刷データによって異なります。本製品の導入をご検討の際は事前にSE／営業にお問い合わせください。

プッシュスイッチ	本製品のネットワーク設定を工場出荷時設定に戻す際に使用します。
LANコネクタ	ネットワークケーブルを接続します。
STATUS LED	ネットワークデータの送受信中に点滅します。
LINK LED	ネットワークに接続されているときに点灯します。
USBコネクタ	ICカードリーダを接続します。
ACアダプタコネクタ	ACアダプタを接続します。

日立製作所・エンタープライズサーバ事業部は、環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO（国際標準化機構）14001：2004の審査を受け、登録された事業部です。当事業部では、製品の開発および製造段階における環境問題に積極的に取り組んでいます。

登録番号：EC97J1032　　登録日：1997年6月24日

■日立の基幹系プリンタをご覧いただけます■
リコープリンティングソリューションスクウェア
〒108-0075 東京都港区港南二丁目16番1号（品川イーストワンタワー4F）
TEL.(03)6716-7781
http://www.ricoh.co.jp/pss

●日立プリンタ製品は、リコープリンティングシステムズ（株）が製造しています。

 安全に関するご注意 | 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、おまもりください。

●記載されている製品の内容・仕様は2008年5月現在のもので、予告なしに変更する場合があります。また、製品写真は出荷時のものと異なる場合があります。
●本製品は日本国内仕様であり、当社では海外での保守サービス及び技術サポートは行っておりません。
●本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ 製品情報サイト
http://Prinfina.jp/

■ インターネットでのお問い合わせ
http://www.hitachi.co.jp/printer-inq/

■ 電話でのお問い合わせは **HCAセンター**へ
0120-2580-12 利用時間 9:00〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝日を除く）

株式会社 日立製作所　情報・通信グループ　エンタープライズサーバ事業部

CA-683P　2008.7
Printed in Japan(H)

プリントアウトをリークアウトにしないために。

ネットワーク、サーバ、パソコン…次のセキュリティ対策は「プリンタ」です。

顧客データの流出や機密情報の漏えいなどが大きな社会問題となる昨今、その責任を問われるようになった情報管理。企業・組織ではネットワークやコンピュータシステムなどを対象に厳格な情報セキュリティ対策に取り組んでいます。しかし、ある調査結果によると「情報漏えい」の経路として最も多いのは、実は「紙媒体」(全体の40.4%*)。つまり、情報を処理するコンピュータや情報の経路となるネットワークだけでなく、“情報の出口”であるプリンタにも、しっかりとしたセキュリティ対策が必要なのです。

日立認証プリントシステム「Secure Print Component for Prinfina」は、ICカードによる本人認証によって印刷動作を行う「認証プリント」を実現。第三者による不正な印刷や持ち去りなど、紙媒体からの情報漏えい防止に効果を発揮します。セキュアなプリントシステムで、いまや企業・組織の責務となった情報セキュリティをより確かなものにしてください。

*「(引用)JNSA2007年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書」

本人認証で不正印刷や持ち去りを未然に防止。

認証プリントでは、ICカードと認証ユニットを利用し、本人であることが認証されてから、はじめて印刷が可能になります。これにより、本人以外による不正印刷を防止するとともに、認証ユニットをプリンタのそばに設置することで、プリンタの排紙トレイ上に書類が放置されるといった状況も抑止。機密書類の持ち去りや紛失などの防止に有効です。

日立なら確実、簡単、スムーズにセキュアなプリント環境を実現。

任意のプリンタで認証印刷

設置場所やプリンタを選ばず認証プリントが可能。

プリント環境にSecure Print Componentを接続することで、ICカードによる本人認証を印刷契機として、どの設置場所のプリンタからでも印刷が可能。[*1] また、印刷設定を両面指定や集約ページ印刷など、一般のオフィスで使用するシンプルな項目にすることにより、日立プリンタ以外のプリンタや複合機が混在しているマルチベンダー環境でも、認証印刷が可能です。[*2]

*1 Secure Print Componentを導入しない状態でWindowsネットワーク印刷が可能な環境が前提となります。
*2 排紙制御など各プリンタに依存する機能は使用できない場合があります。

プリントログ管理

「プリントログマネージャ」でプリントシステムを適正管理。

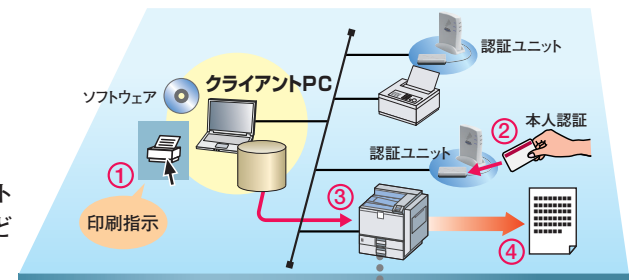
オプションの「プリントログマネージャ」を活用すれば、誰が、何を、いつ、どのプリンタで、何枚印刷したか、といった情報の収集・管理が可能。重要書類の印刷結果を管理したり、ムダな印刷を抑止したりなど、よりセキュアで効率的なプリント環境を実現します。

規模に合わせて選べるシステム構成

例えば、まずは既存の機器を利用して、部署やフロア単位でスモールスタート。利用規模の拡大に応じてシステムの拡張もスムーズです。

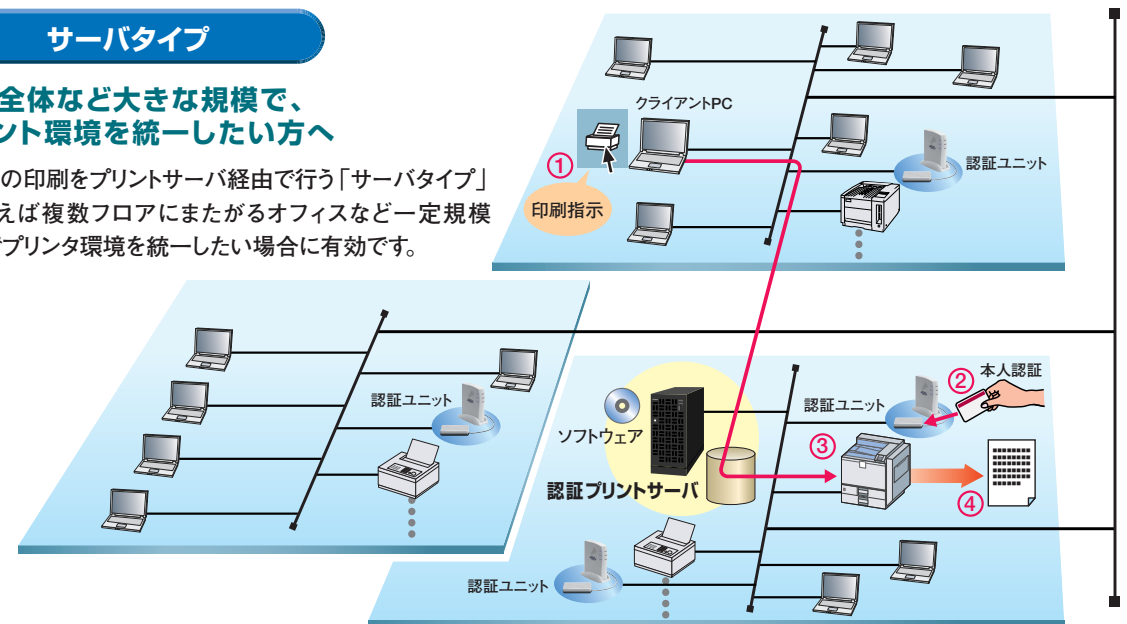
クライアントタイプ

部署・部門などフロア単位で、より簡単に導入したい方へ

プリントジョブをクライアント側で蓄積する「クライアントタイプ」は、プリントサーバの設置が不要。部署や部門などフロア単位で簡単に導入できます。

① 印刷指示(印刷ジョブをクライアントPCにスプール) → ② 本人認証 → ③ 印刷開始 → ④ 印刷完了

サーバタイプ

会社全体など大きな規模で、プリント環境を統一したい方へ

すべての印刷をプリントサーバ経由で行う「サーバタイプ」は、例えば複数フロアにまたがるオフィスなど一定規模以上でプリンタ環境を統一したい場合に有効です。

① 印刷指示(印刷ジョブを認証プリントサーバにスプール) → ② 本人認証 → ③ 印刷開始 → ④ 印刷完了